

スキルマップ（岡山県デジタル人材育成方針（R7.3.26）より）

別紙

スキル			スキルの概要	必須/推奨		
ソフト スキル	1	DX推進マネジメント（変革）	DXに向けた機運醸成・組織風土の変革を牽引することができる。	○		
	2	DX推進マネジメント（業務）	責任者としてプロジェクトの人員、予算、スケジュールなどをマネジメントし、リスク対策を行いながら推進することができる。	○		
	3	DXリーダーシップ	リーダーとしてプロジェクトを企画・立案し、関係者と連携して業務を進めることができる。	◎		
技術 スキル	高度	4	情報セキュリティ（高度）	自治体職員としてDXを推進する中で、より高度なシステムやネットワークに係るセキュリティを理解し、対策、運用できる。	○	
		5	サービスデザイン（高度）	ユーザーの視点で課題を捉えるデザインシンキングの手法を使い、新しいサービス及び業務改善の立案を行うことができる。	○	
		6	ネットワーク（高度）	ネットワークに関する高度な技術を持ち、関連する業務を構築できる。	○	
		7	システム構築	アジャイル開発等のシステム構築手法を理解し、システムに関わる高度な知識を持ち、システム構築ができる。	○	
		8	アプリ開発（高度）	プログラミングやVBAなどの高度な知識と技術を持ち、関連する業務を構築できる	○	
		9	データ利活用（応用）	収集したデータの分析に基づき、課題設定から政策立案に至るEBPMの一連のプロセスを実行できる。	○	
		10	BPR（実践）	自治体の業務に即した実効性のある業務の可視化・分析の手法を習得し、ゼロベースで業務の見直しを実践できる。	◎	
	基礎 （業務担当）	11	ネットワーク（基礎）	ネットワークに関する基礎的な知識を習得している。	◎	
		12	アプリ開発（基礎）	ローコード（ノーコード）を活用し、比較的単純なアプリを作成し、内製化することができる。	◎	
		13	システム企画	システム化する業務を正確に把握し、施策立案から適切な提案依頼を行うことで、適切な事業者・サービスの選定を行うことができる。	◎	
		14	BPR（基礎）	DXの推進に必要なとなるBPRの基本的な考え方や視点を理解する。	◎	
		15	AI・RPA活用	AIやRPAの知識を習得し、AIやRPAを業務に活用することができる。	◎	
	共通 理解の 形成	マインド セット	16	DX知識（基礎）・マインド	DXの基礎的な知識及びDXを推進するマインドを習得している。	◎
			17	サービスデザイン（基礎）	デザインシンキングについて基礎的な知識を習得している。	◎
		デジタル リテラシー	18	ICT知識（基礎）	ICT技術について基礎的な理解と知識を有している。	◎
19			情報セキュリティ（基礎）	自治体職員として必要な情報セキュリティの基礎的な知識を習得している。	◎	
20			Office活用（基礎）	Officeの基礎的な知識・操作方法を習得している。	◎	
21			データ利活用（基礎）	データ利活用の基礎的な知識を習得している。	◎	
22			社会動向	政府や他自治体のデジタル関連政策や社会のデジタル化の動向、新規技術について情報を収集する。	◎	

◎・・・必須
○・・・推奨